甘楽町広報

第二号

郡場　甘楽郡役場
発行所　群馬県甘楽町
編集　総務課広報係
印刷所　誠確堂印刷所

昭和34年7月15日（毎月15日発行）

6月の動態

人口	1	5,170	人
	男	7,255	人
	女	7,915	人
世帯		2,675	人
出生		20	人
死亡		7	人
転入		30	人
転出		24	人

七月の納税

一、固定資産税第二期
二、所得税（国税）第一期

新庁舎の建設と新屋小学校の改築

―― 議会でとり上げる ――

町議会では七月一日、小幡小学校で全員協議会を開き、町長から提出した十項にわたる問題を協議し、全員の了承を得ましたが、そのうちのおもなるものをお知らせします。

1、新庁舎の建設　合併基本協定に盛られて、甘楽町が第一に採り上げなければならない事柄で、これが解決しないかぎり、いまのように会議室もない不便は解決しないと町長が説明し、早い機会に建設計画を立てるために議会を中心に専門委員会を設けて、実現に向つてすすむことにし、その場所は、県道福島万場線の拡張工事が、来年度から着工の予定なので、これと関連して考えたいと議員の了承を求めました。

なお、新庁舎建設までの暫定措置として、近く現庁舎の改増築をして、いつそう事務能率をあげ同時に二階を会議室に使用することになりました

2、新屋小学校の改築　来年中に改築を期して、来たる九月ごろまでに起債その他の具体策をだすために、ちかく議員と教育委員との合同会議を、新屋出張所で開くことになりました。

問題は、人口動態の現状から、数年後には福島小中学校の児童生徒数が激減するので、将来の町の文教政策の上から、新屋小改築の位置を、これと関連させて考慮する必要もあろうということになりました。

雄川石にライトを！

天然記念物指定への動き

日本庭園に対する魅力は世界的風調となつてきました。これには、三波川石と雄川石は、天下の庭石としてならび称されています。

ところが、三波川石はすでに名勝に指定されて採取できないために、残された唯一の雄川石に、内外の好事家の眼が、集中しています。

ちかごろは業者の盗石が相次いで、この調子だと数年のうちにこの名石が、跡形もなくなりましょう。そこで、県教育委員会と土木部に連絡、地域をかぎつて名勝天然記念物に指定し、町の管理に移して甘楽町の立派な観光資源にしたいという動きがあつて、関係者が寄り寄り検討中です。

最近やみ夜に乗じて大規模な盗石がさかんに伝えられるので、管理権をもつ富岡土木出張所ではこれが防止に本腰をいれることになり、正規の監視員証を作成してその人選を本町に依頼することになりました。

そこで町では沿川の各区長さんに責任ある監視役をお願いすることにしますが町民のみなさんも庭石盗人を見つけた時は、各区長または、近くの巡査派出所に急報して、この名勝の保存に協力してください。

写真は雄川　（長篠寺前）

新たに水道の開設促進

運営協議会委員の新任

3、簡易水道運営協議会の設置　甘楽町の簡易水道は給水石数二百十六キロリットル、給水人口九千六百十九人で、全戸数に対しては、約八十パーセントの普及率で、郡内はもちろん、全国でもまれな生活改善地域として知られていますが、旧福島地区には、いくつかの自家用施設があるだけで、大部分が取残されている現状です。

そこで、新たに委員会を設置して、水道施設全体の適正な運用を図ることになりました。

4、道路の拡張と側溝工事　福島駅前道路二百メートルを巾員六メートルにし県道との出入口を二十メートルにする拡張工事が県費によつて今年度から着手され、つづいて、山口菓子店から旧小幡への県道一千五百メートルの拡張を国費によつて来年度着工を予定して、本町の中央路線としての面目を一新するため、強く推進することにしました。

また、城町側溝工事五十メートルの延長実施もちかく着手の運びとなつています。

関係者の一段のご協力が望まれます。

5、消防委員会　消防行政推進の一役として、消防委員会を新たにおくことになり、議会の総務委員が兼任して発足することになりました。

農休みは十九日から三日間

農家の皆さん、麦刈り、田植えとご苦労さまでした

さて、この農繁期が一段落すると、農家にとつてたのしみなのが農休みです。

今年は、甘楽町になつてはじめての農休みです。昨年までは、各町村まちまちの日取りで行なつてきましたが、全町一斉が最も有意義だという要望もあつて、去る十三日の区長会議で、十九日、二十日、二十一日の三日間、農休みを実施することになりました。

暑い時期でもあり、あそぶことによつて暴飲暴食をして農休みがかえつて伝染病等のわざわいをひき起さないよう注意し、十分な休養をとるようにしてください。

前三ヶ町村議員に記念品と感謝状を贈る

町では七月三日と六日の二日間にわけて、前三ヵ町村議会議員に記念品と感謝状を贈りました。

前議会議員の皆さんは、多年、むずかしい町村合併問題と取組み、私心をすてて、新町「甘楽町」実現に努力され、ついに、大多数町民のねがいをはたし、みずからは、合併のときの約束にしたがつて、辞職されたものです。

私たち町民は、ここに、心から敬意と感謝の意を表わし、今後さらに甘楽町発展のために、ご指導、ごべんたつくださるようお願いするものであります。

＝前議員氏名＝　敬称略

旧小幡町

斉藤　勝司　松井　馨
斉藤　重作　飯塚長次郎
黒沢　鯛蔵　浅香角大郎
田中　芳男　狭原軍太郎
浅香　堯春　田村　九市
仲条　鶴吉　小林　茂一

旧福島町

丸山寿太郎　篠原　良一
斉藤　計平　矢島　太郎
近藤　祐三　堀口　玉吉
相川　次郎　相川　理八
島田松太郎　新部　武雄
山田　正一

以上十一名

旧新屋村

三木　文三　大河原鶴吉
春山　吉平　長岡　廉平
峯岸　政重　中里久太郎
桑原木十郎　田村伊勢松
吉田　伝策　柳沢清次郎
増田　太吉　茂原嘉久外茂
柴山鉄太郎　高橋　浜雄

以上二十名

原動機付自転車届出は税務課へ

軽自動車（原動機付自転車）で、総排気量が一二五CC以下のものを取得した人は、すぐに町のナンバーの交付を受けて下さい。

ナンバーの色は、五〇CC以下は白色、五一CCから九〇CCまで黄色、九一CCから一二五CCまで桃色です。車を変更した場合も必ず届出てください。

また、軽自動車で一二六CC以上のものは陸運事務所で県ナンバーの交付を受けてください。

（税務課）

負け惜しみ

「マメがいたいからじやないよ、大自然にふれたいからさ」

自然に親しむ運動・7月21日から8月20日まで

8月2日 町内野球大会

甘楽町体育協会では八月二日、福島小、中学校校庭で、町内野球大会を開くことになりました。

試合は、秋畑、小幡、福島、新屋の四地区にわけ、各地区の予選で勝ち抜いた四チームによつて行なわれ優勝旗を争うことにします

すでに、相当多くのチームが出場を目ざして、猛練習を行なつていますので、予選会から大試合が展開されそうです、各チームのご健闘をお祈りします。

体育協会役員

敬称略

会長　篠原　良一　福島
副会長　桑原　虎治　小幡
〃　松井　巽　秋畑
〃　小柏丑五郎　天引
部長
陸上　柳沢　勇　善慶寺
野球　今井平八郎　小幡
庭球　高田信太郎　白倉
剣道　森平　三郎　天引
柔道　篠原　三郎　福島
卓球　布瀬川市川　金井
バレーボール
黒沢　篤　秋畑
山田　実　吉田　種作
小河原今朝五郎
江原　兼吉　小柏丑五郎
斉藤　市造　高橋　健治
安藤覚太郎　堀口庄三郎
吉田荒次郎　以上十六名

教育費をみる

昭和三十三年度に町内に教育費がどのくらい支払われたか次の表でお知らせします。（教育委員会）

教育費

昭和三十三年度における甘楽町管下小中学校及び社会教育関係の公費、いわゆる国、県、町で支出した金額が調査されましたから、おしらせいたします。

種別 / 区分	国、県	町	計	児童生徒一人当り
小学校	26,144,649円	5,099,641円	31,244,290円	10,600円
中学校	17,101,993円	5,264,688円	22,366,681円	20,806円
社会教育費	18,000円	1,840,756円	1,858,756円	町民一人当り81円

バス時間かわる

7月10日から小幡発午前7時50分が10分早くなり、7時40分になりました。これは上信福島発7時53分と連絡、上野行（ハルナ）に連絡します。